

# Science Tokyo ID 初期設定マニュアル（医歯学系）

1. IDと初期パスワード/Science Tokyo Gmail アドレスの確認 (必須)
2. パスワードの変更 (必須)
3. 多要素認証 メール認証設定 (必須)
4. 多要素認証 アプリ認証設定
5. パスワード再発行用メールアドレスの登録 (必須)
6. 多要素認証 FIDO2認証設定
7. 初期設定後のログイン方法

# 1. IDと初期パスワード/ Science Tokyo Gmail アドレスの確認（必須）

## Science Tokyo ID について

Science Tokyoでは旧大学での認証システムに加えて、新しい認証システム「Science Tokyo 認証システム」を導入いたしました。旧認証システム（統合ID）とは利用できるサービスが異なりますので、受領後はどちらも必ず初期設定を行ってください。

## Science Tokyo Gmail (@m.isct.ac.jp) について

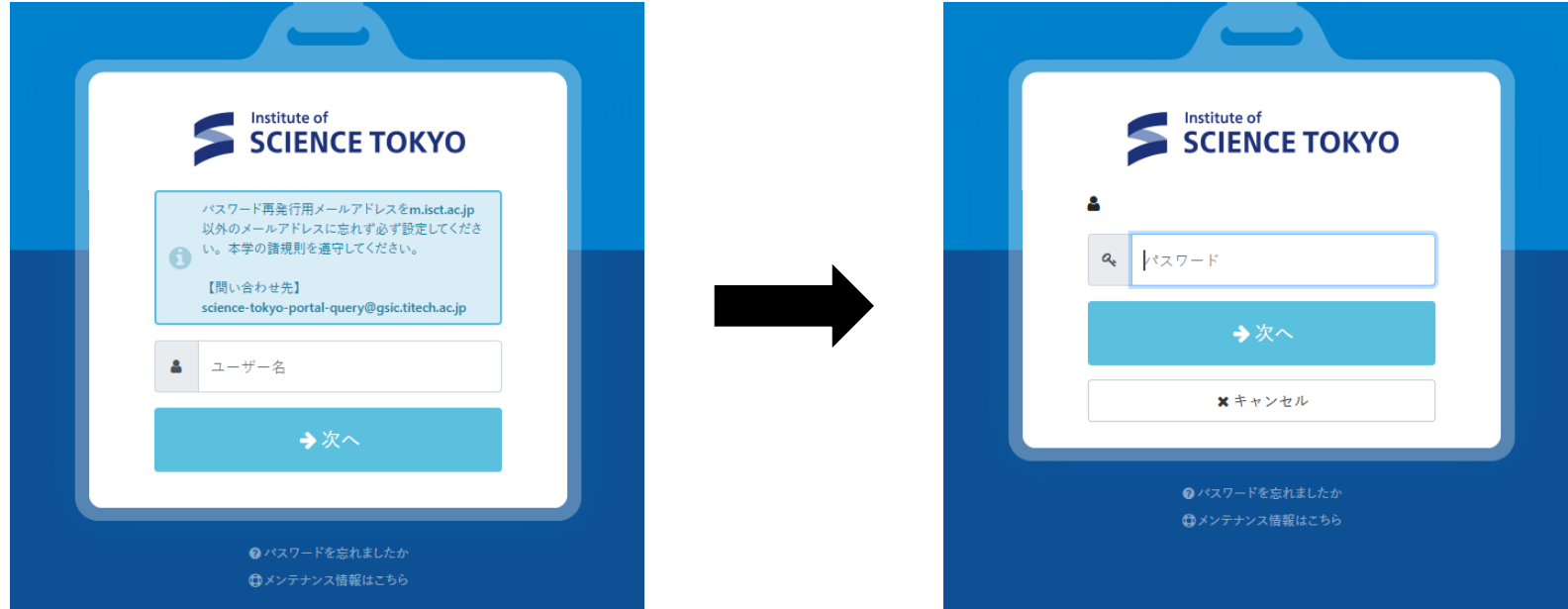
Science Tokyo Gmailにつきましては、[Science Tokyo Gmail のWebページ](#)をご参照ください。

## IDと初期パスワードの確認方法について

旧認証システム（[統合ID-Extic](#)）に**統合ID**でログインし、アイコン「Science Tokyo ID表示」をクリック後青色の「記載事項に同意します」を押下するとScienceTokyoIDと初期パスワードを確認できます。詳しくは、[【医歯学系構成員向け】 Science Tokyo IDの確認方法](#) をご覧ください。

# 2. パスワードの変更（必須）

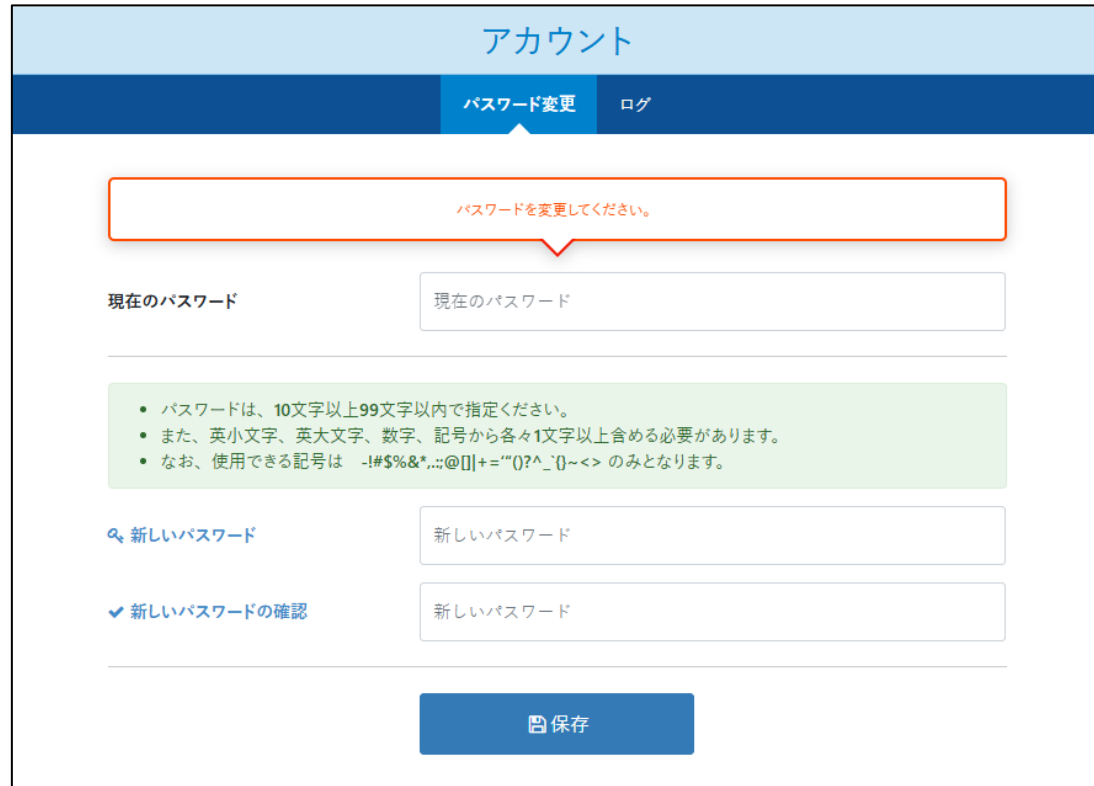
## Science Tokyo ポータルサイトにアクセス



- 「ユーザー名」の欄にScience Tokyo ID（以下、ID）を入力してください。  
これは、ID通知書記載の英小文字4文字+数字4文字（合計8文字）のものです。
- 「パスワード」の欄に初期パスワードを入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

## 2. パスワードの変更（必須）

### 新しいパスワードを設定



アカウント

パスワード変更 ログ

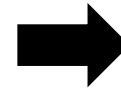
パスワードを変更してください。

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワードの確認

保存




アカウント

多要素認証 (FIDO2) 多要素認証 (OTP) ログ

直近1週間のログを表示します。 [更新](#)

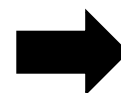
日時	結果	操作
2025/02/17 09:59:04	成功	パスワード変更

パスワードが変更されると「ログ」に「パスワード変更」が掲載されます。  
 ※結果が「処理中」となっている場合、しばらくしたら「成功」となります。  
 「成功」になるまで待つ必要はありません。

- 「現在のパスワード」の欄に初期パスワードを入力し、条件を満たした「新しいパスワード」を2箇所に入力して、「保存」ボタンをクリックしてください。  
**10文字以上99文字以内、かつ英小文字、英大文字、数字、記号から各1文字以上含めること**  
**使用できる記号は -!#\$%&\*,.,:;@[]|+=“()?^\_{}~<> のみ**

# 3.多要素認証 メール認証設定 (必須)

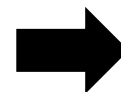
## 多要素認証(OTP)のメール認証を設定する



- 上部の帯の項目の中から「多要素認証(OTP)」をクリックして選択してください。  
その後「メール設定」の行の右端の「設定」ボタンをクリックしてください。
- 「メールアドレス」欄にワンタイムパスワード受信のためのメールアドレスを入力してください。  
メールアドレスを入力したら、「ワンタイムパスワードを送信する」ボタンをクリックしてください。  
**確実に受信して確認ができるメールアドレスを登録してください**  
**Science Tokyo Gmail アドレス (\*\*@m.isct.ac.jp) および SaaSアドレス (\*\*@saas.isct.ac.jp) は設定しないこと**  
**キャリアメール (携帯電話会社から提供されるメールアドレス) は非推奨**

# 3.多要素認証 メール認証設定 (必須)

## ワンタイムパスワードを受信



設定が完了すると「多要素認証(OTP)」のメール認証が「設定済み」となります。

- 入力したメールアドレスにワンタイムパスワードを記載したメールが送信されます。  
作業を行っているウィンドウはそのままに、別ウィンドウもしくは機器でメールを確認してください。
- メールに記載されている6桁のワンタイムパスワードを「ワンタイムパスワード」欄に入力して、「設定」ボタンを押してください。

# 4.多要素認証 アプリ認証設定

## アプリ認証について

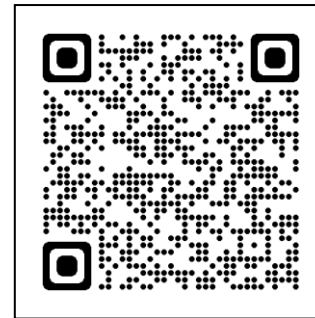
アプリ認証では、ワンタイムパスワードをメール経由ではなく、アプリから受け取ります。  
デバイス（スマートフォンやタブレット等）にインストールされたアプリには種となるコードが記録され、そのコードと時刻から、アプリはその都度、ワンタイムパスワードを生成します。

（注）時刻が間違っていると、ワンタイムパスワードが正しく生成されません。

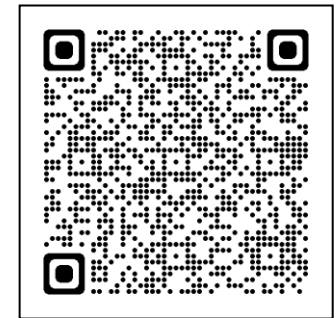
また、アプリ認証はお使いのスマートフォン等に設定されますので、機種変更をするとアプリ認証は使用できなくなり、再設定が必要です。

※院内スマートフォンには設定できません。

アプリ認証の設定を始める前に、  
App Store（iOS）またはGoogle Play Store（Android）から  
「**Google Authenticator**」をインストールしてください。



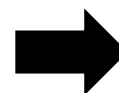
iOS



Android

# 4.多要素認証 アプリ認証設定

## 多要素認証(OTP)のアプリ認証を設定する



- 上部の帯の項目の中から「多要素認証(OTP)」をクリックして選択してください。  
その後「アプリ設定」の行の右端の「設定」ボタンをクリックしてください。
- 画面に表示されているQRコードを「**Google Authenticator**」のアプリで読み取ってください。(※)  
アプリ上で生成されたトークンを「トークン」欄に入力して、「設定」ボタンを押してください。  
※アプリを起動して、画面右下の⊕ボタンを押して「QRコードのスキャン」を選び、カメラをQRコードに向けてください。  
トークン（ワンタイムパスワード）として6桁の数字が生成されます。

# 5.パスワード再発行用メールアドレスの登録 (必須)

アカウント

ポータル プロフィール パスワード変更 多要素認証 (FIDO2) 多要素認証 (OTP) ログ

ユーザー名

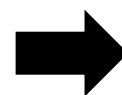
表示名

メールアドレス @m.isct.ac.jp

パスワード再発行用メールアドレス ? (例) example@example.com

テストメールを送信する

保存



アカウント

ポータル プロフィール パスワード変更 多要素認証 (FIDO2) 多要素認証 (OTP) ログ

テストメールを送信しました。

ユーザー名

表示名

メールアドレス @m.isct.ac.jp

パスワード再発行用メールアドレス ? media.libtmdu@gmail.com

テストメールを送信する

保存

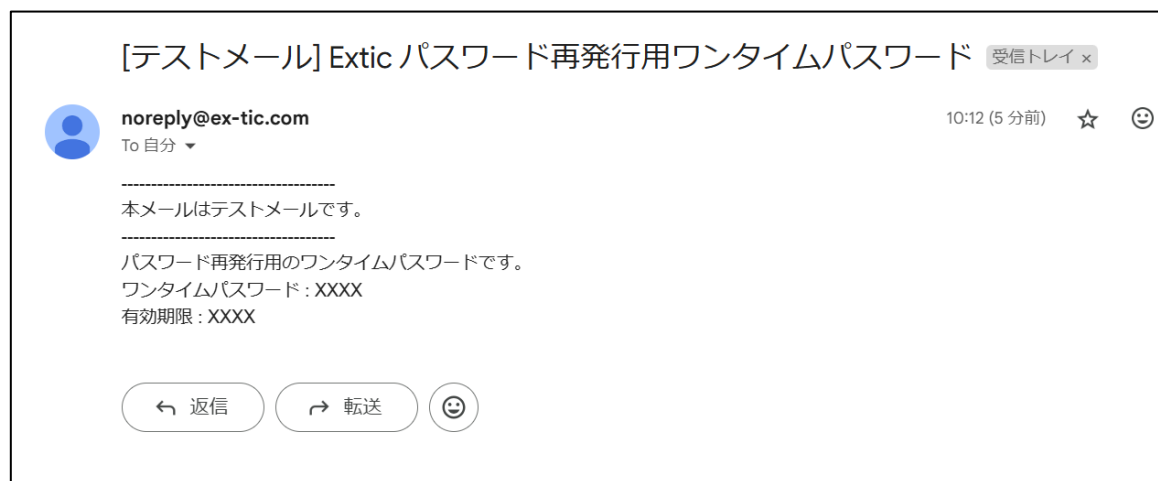
- ・ 上部の帯の項目の中から「プロフィール」をクリックして選択してください。
- (注) 複数ある認証方式のうち1つ以上設定が完了していないと「プロフィール」は表れません。
- 「パスワード再発行用メールアドレス」の欄に、パスワード再発行用メールアドレスを入力してください。メールアドレスを入力後、「テストメールを送信する」をクリックしてください。

**※設定するメールアドレスはメール認証と同じメールアドレスでも構いません**

**Science Tokyo Gmail アドレス (\*\*\*@m.isct.ac.jp) および SaaSアドレス (\*\*\*@saas.isct.ac.jp) は設定しないこと**

# 5.パスワード再発行用メールアドレスの登録 (必須)

## テストメールを受信する



「テストメールが届かない場合」

- ・メールアドレスを再度確認する
- ・迷惑メールボックス内を確認する
- ・受信可能リストに「ex-tic.com」のドメインを追加する
- ・別のメールアドレスを試す

- ・入力したメールアドレスにシステムからメールが届くかどうかを確認してください。メールが届いていれば「保存」ボタンをクリックしてください。

日時	結果	操作
2025/02/17 10:13:18	成功	プロフィール更新

設定が完了すると「ログ」に「プロフィール更新」が掲載されます。

# 6.多要素認証 FIDO2認証設定

## FIDO2認証とは

多要素認証（FIDO2）を設定することで、パスキーのしくみにより指紋認証や顔認証などを使って認証することができます。

※入学・入職時期によっては、設定可能となるまで時間がかかる場合があります。

また、ご利用のP C、認証器、O S、Webブラウザの組み合わせによってはFIDO2認証ができない場合がありますので、導入前に必ず動作確認を実施してください。

下記サイトに「FIDO2動作確認済み認証器」の情報が公開されていますので、ご参照ください。

<https://www.exgen.co.jp/extic/specs.html>

# 6.多要素認証 FIDO2認証設定

## FIDO2認証を設定する

- ・ 認証器を接続、または搭載したデバイスで Science Tokyoポータルサイトにログインします。  
「多要素認証 (FIDO2) 」タブを選択→「新しい認証器を追加」をクリックします。

The screenshot shows the 'アカウント' (Account) settings page. The '多要素認証 (FIDO2)' tab is selected. A message states that up to 10 authentication devices can be registered and that duplicates should be avoided. A red-bordered button labeled '+ 新しい認証器を追加' (Add new authentication device) is visible. Below is a table with columns for '表示名' (Display name), '備考' (Remarks), and '操作' (Action).

表示名	備考	操作
-----	----	----

# 6.多要素認証 FIDO2認証設定

## 認証器を追加

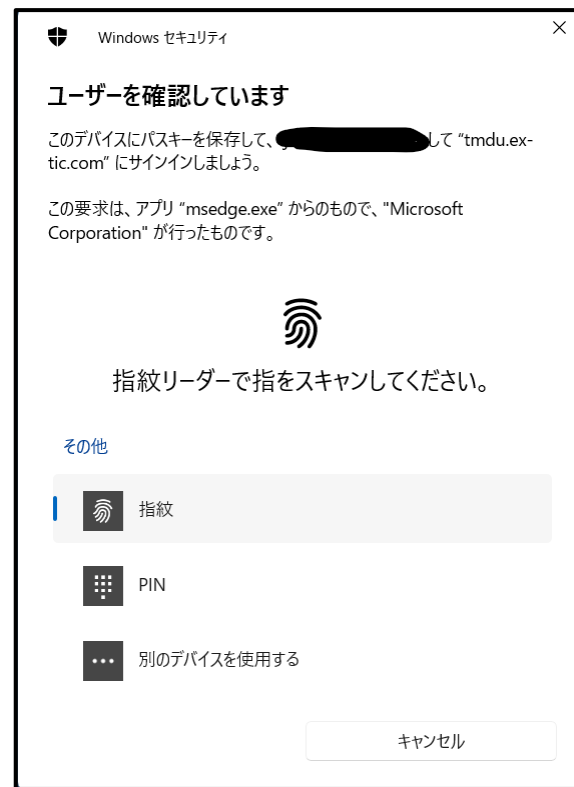
- 任意の表示名を入力し、「追加する」をクリックします。

認証器の追加

表示名 必須 例) Yubico

備考 例) Security Key by Yubico

+ 追加する × キャンセル



- ご利用の認証器を選択し、認証を行います。
- 保存されたパスキーが表示されたら「OK」をクリックします。認証器が追加されていれば設定完了です。



※ご利用の認証器によって認証方法が異なります

※Windows Hello等を設定済みのデバイスでは、すぐに認証に遷移する場合があります

# 7.初期設定後のログイン方法

## Science Tokyo ポータルサイトにアクセス

(注) 学籍番号/職員番号やメールアドレスではありません

「ユーザー名」欄に**Science Tokyo ID**を入力してください。

パスワードレス認証を設定していない場合 (①)、または、パスワードレス認証を設定済みだが、OTPを使って認証する場合 (②) は、**次の画面**で新しく設定したパスワードを入力してください。(次頁参照)  
 ※②の場合は、右側のパスワードのタブを選択してからパスワードを入力してください。

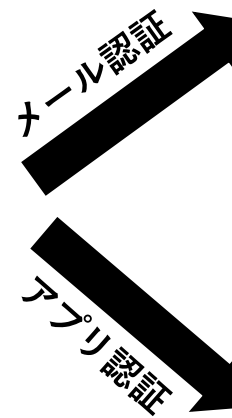
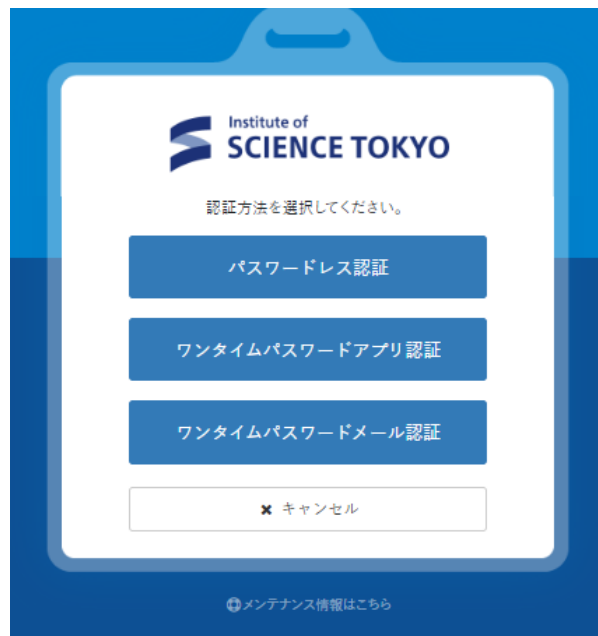


# 7.初期設定後のログイン方法

## 多要素認証(OTP)メール認証/アプリ認証

パスワードを「パスワード」欄に入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

多要素認証の設定状況により認証方法が最大3つ表示されますので、「ワンタイムパスワードメール認証」もしくは「ワンタイムパスワードアプリ認証」を選択し、OTPにて認証を行ってください。



クリック

